

令和5年度復職支援研修
講義・演習コース実施報告

講義・演習コース1：令和5年6月8日（木）～6月9日（金）

1. 目的

就業を希望する者に対し、最近における看護知識・技術を修得させ、未就業看護職に再就職を促すとともに就業の継続支援を目的とする。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、新たな看護業務の発生や看護職員の休業等で緊急の要請があった場合、協力可能な看護職が不安なく業務に従事できるようにする。

2. 開催日

講義・演習コース1：令和5年6月8日（木）～6月9日（金）

3. 開催場所

宮崎県看護等研修センター

4. プログラム

（講師敬称略）

回数	午前	午後
1日目	開講式 9：20 看護の動向（9：30～10：30） 看護に関係する社会環境の変化や最近の看護に関する動き等を学ぶ 講師：宮崎県ナースセンター長 荒川貴代美 復職支援講座（10：40～11：30） ・職場の選び方・履歴書の書き方・職務経歴書の書き方・面接の受け方 ナースセンター 就業相談員 小谷やよい 自己紹介・意見交換（11：30～12：00） 受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める。	感染管理（13：00～15：30） 感染の知識を深め、正しい感染予防の実際を学ぶ。感染予防の基本的技術を習得する。個人防護具の着脱（実技） 講師：平和台病院 副看護部長 感染管理認定看護師 柳原由美子氏 ナースセンター登録の支援（希望者のみ）
2日目	フィジカルアセスメント （9：30～12：00） 患者の状態から緊急性の有無を明確に判断・把握し、必要とされる看護ケアへつなげることー看護観察から判断まで（実技含） 講師：宮崎大学医学部附属病院 看護師長 3学会呼吸療法士 竹田久美子氏	医療安全管理（13：00～15：00） 身近に起こりうる医療事故について知り、予防策について学ぶ。 講師：県立宮崎病院 医療安全管理課 リスクマネージャー 師長 外山祥子氏 15：00～振り返り

5. 受講者の状況

① 受講者：10名（未就業者 10名）

② 取得看護免許

看護師 9名 准看護師 1名

③ 年齢：26～64歳（平均 47歳）

年代	受講生数	構成比
～29歳	1	10%
30～39歳	2	20%
40～49歳	3	30%
50～59歳	1	10%
60歳以上	3	30%

④ 看護職経験年数：3年～42年（平均12.8年）

経験年数	受講生数	構成比
1年未満	0	0%
1～5年未満	4	40%
5～10年未満	3	30%
10～20年未満	1	10%
20年以上	2	20%

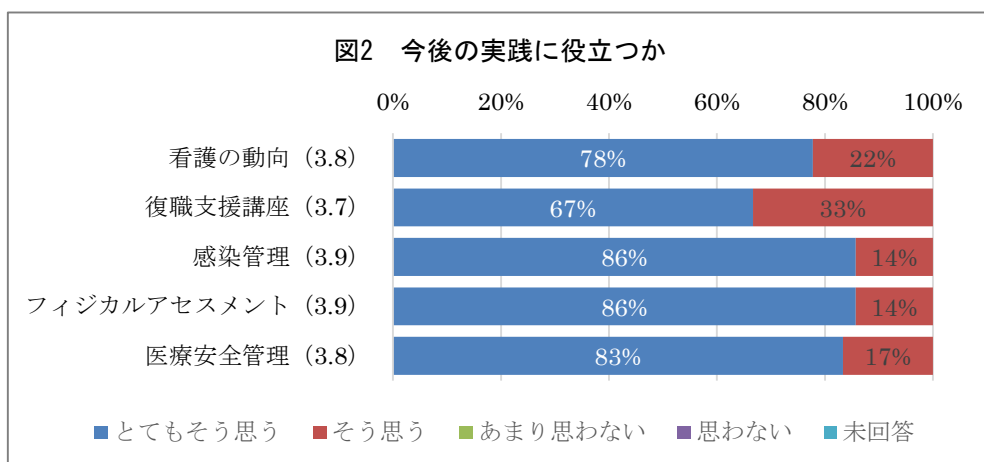
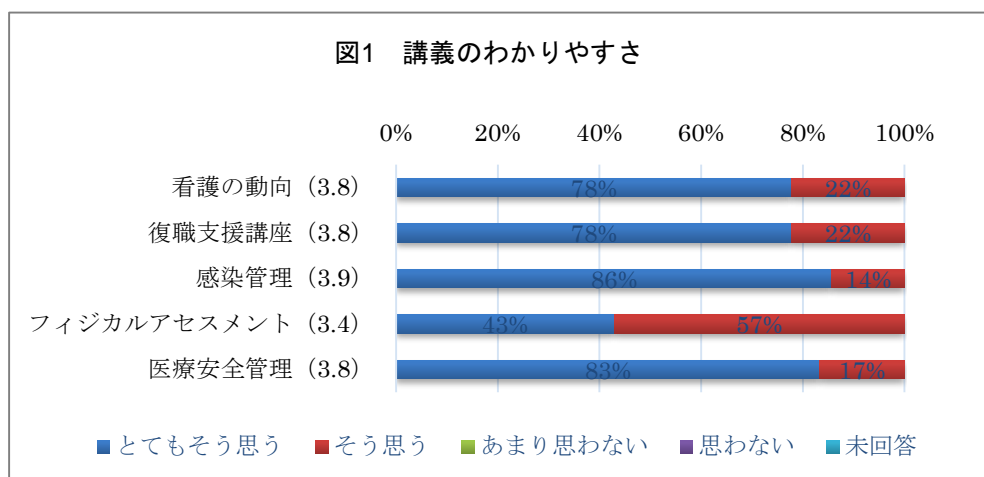
⑤ 未就業者10名の最終離職(または免許取得)から受講までの期間(ブランク期間)
0.0年～32年（平均9.2年）

ブランク期間	受講生数	構成比
1年未満	1	10%
1～5年未満	4	40%
5～10年未満	0	0%
10～20年未満	3	30%
20年以上	2	20%

6. 結果

各講義について、＜理解度（わかりやすさ）＞＜今後の実践に役立つか＞について4段階評価尺度と自由記述方式によるアンケート結果で示した。

1) 各講義のアンケート結果



2) 自己紹介・意見交換

(1) 内容

① 目標

受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める

② 内容

- ・ キャリアシートを活用し過去の振り返りと今後について考える
- ・ アイスブレイクと受講生自己紹介
- ・ 意見交換

3) 受講しての感想

- ・ 状況のちがう参加者の方の話を聞け、勇気をもらった。また、情報交換や話ができ、励みになった。
- ・ もっと交流できる時間が欲しかった。機会があれば、色々参加していきたい。
- ・ 来るまではとても不安だったが、同じように不安に思っている方もいて私だけではないんだと思うことが出来た。
- ・ 復職できるか不安だが、講義を受けて、少し不安が軽減できた。このような機会があり、前に進めそう。転職活動を頑張ろうと思う。
- ・ いろいろな情報を得られ、実際に経験でき、大満足。復職に向けて一歩ずつ近づいている気がする。
- ・ 正常な状態をしっかりと理解している事で異常に気づけるとあらためてわかった。
- ・ 急変時の対応に一番不安を感じていたので、講義を聞いてよかった。
- ・ 医療事故について事例を紹介してもらいながらの講義で、確認する事や報告の仕方などあらためてわかった。
- ・ 実際の現場の看護師の方の講義で、今の様子がわかった。
- ・ とても内容の濃い研修で勉強になった。

4) 取り入れてほしい講義

- ・ 電子カルテについて（どういうものなのか、どういうふうを活用するのか、使い方など）
- ・ 救急蘇生について

7. まとめ

広報は、情報誌、新聞、市町村広報誌、ハローワーク等で行い、研修の申込は11名であったが家族の体調不良等に伴い10名の参加となった。

研修内容については、アンケートの結果のとおり満足度の高いものとなった。演習をすることで感染管理や個人防護具の着脱についても理解が深まり、感染予防対策の重要性を再確認できたようだ。参加者同士の交流が再就職への意欲につながったようだ。

受講者は参加することを決心し研修に申し込み、会場に足を運ぶこと自体にも不安を感じている。その不安な気持ちに寄り添いながら受講者の状況に合わせ就業を支援していきたい。

研修の様子

感染管理 個人防護具の着脱



フィジカルアセスメント 呼吸音の聴取



